

平成30年7月豪雨  
愛媛大学災害調査団

浸水痕跡調査

愛媛県鬼北町 泉郵便局周辺、広見川・三間川合流点

浸水深さ測定：2018年7月16日

森脇 亮、今村 実（学生）、井上 咲（学生）、得能育孝（学生）、  
三好憲正（NPO法人愛媛県建設技術支援センター）、米虫 聡（愛媛県技術士会）

調査箇所 愛媛県鬼北町 泉郵便局周辺, 広見川・三間川合流点



鬼北町泉地区(7月16日調査)

広見川

宇和島警察署泉駐在所

赤破線: 推定最大浸水範囲

赤矢印: 推定流向

番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

黄色部分: 調査範囲

泉郵便局

大宿川

- 洋品店では8時02分に水面の上昇を確認
- 8時21分に2階へ避難
- 8時47分に1階が浸水
- 9時28分に水が引いてきた
- 約30分間にどんどん水位が上昇
- 鮮魚店くらいまで浸水が広がる
- 避難所は川沿いのコミュニティセンターのため危険大
- 橋からの水よりも洋品店横の道からの水の勢いの方が大きかった
- 鮮魚店・洋品店は前から後ろからも水が来た
- 民家(鮮魚店の向かいの家)は床下浸水
- 鏡川橋に流木が引っ掛かっている
- 鏡川橋の手すり部分はコンクリートがはがれた状態
- 鏡川橋上流右岸側の田んぼは浸水
- 鏡川橋上流左岸側は畑と田んぼの間まで浸水
- 新鏡川橋付近はあふれなかった
- 民家の車庫では、壁板が推定される流れ方向とは逆向きにはがれていた(写真②)

地理院地図



写真①(鏡川橋上流右岸側)



写真②(鏡川橋上流左岸側)



写真③(鏡川橋下流左岸側)



写真④(洋品店浸水深)



写真⑤(洋品店浸水深)



写真⑥(民家玄関)



写真⑦(民家)



写真⑧(民家玄関)



写真⑨(鮮魚店浸水深)



写真⑩(新鏡川橋下流左岸側) 写真⑪(民家浸水深)



写真⑫(民家浸水深)





写真⑬(民家浸水深)



写真⑭(太陽光パネル横(南)) 写真⑮(太陽光パネル横(北))



写真⑯(街灯横浸水跡)



写真⑰(街灯横浸水跡)



鬼北町泉地区の豪雨災害時の写真(鬼北町泉地区の住民よりご提供)



鬼北町(7月16日調査)

広見川

赤破線: 推定最大浸水範囲

赤矢印: 推定流向

番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

新田

- 新興野々橋付近、高嶋神社の手前まで浸水の跡
- 広見川と見間川の合流部右岸側のガードレールに草が引っ掛かっている
- この越流は広見川の勢いによるもの大きい
- 危ないとわかっているから川の周辺は田んぼとして利用し、家は一段高いところにある
- 先に引いたのは見間川
- 最大水位・流量ともに広見川

三間川

峠

160cm

430cm

地理院地図



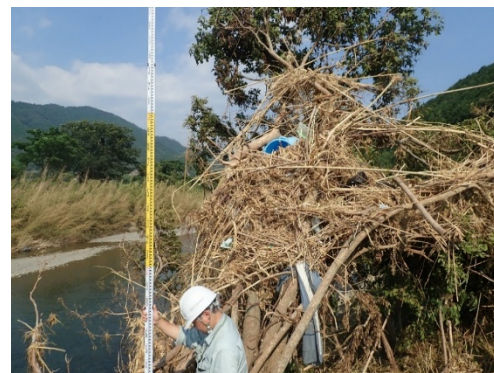
写真①(新興野々橋下流)



写真②(新興野々橋上流)



写真③(広見川,三間川合流部)



写真④(広見川,三間川合流部)



写真⑤(高鴨神社裏木)



写真⑥(高鴨神社裏)



鬼北町(7月16日調査)

広見川

市が成

泉小学校

岩谷

百

岩谷トンネル

岩谷橋

赤破線: 推定最大浸水範囲

赤矢印: 推定流向

番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

- 泉小学校の校長先生に、7時5分に公民館(避難所)がいっぱいになりそうなので小学校を避難所として開けるように電話があった
- 7時15分~20分に小学校を開く
- 泉小学校の浸水は無い
- 8時24分前後で流量が最大
- 岩谷遺跡が浸水(写真①)
- 公民館に避難した人は最大で2日間泊まった

鬼北町(7月16日調査)

宮野々橋

宮野々

赤破線: 推定最大浸水範囲  
赤矢印: 推定流向  
番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

- 上川橋は冠水。
- 宮野々橋桁下まで水
- 岩谷トンネル内も浸水

△281.1

市が成

新市々成橋

豊永

本村

上川橋

上川

広見川

岩谷

百

地理院地図





# 写真①(岩谷遺跡)



# 泉小学校近辺での豪雨災害時の写真(鬼北町泉小学校校長先生よりご提供)



# 泉小学校近辺での豪雨災害時の写真(鬼北町泉小学校校長先生よりご提供)



写真撮影場所の詳細は不明なため、頂いた写真と撮影場所の確認をする必要あり